

福井県立藤島高等学校 令和4年度 生徒課題研究発表会プログラム

1.目的

- ① 課題研究の成果を、校内の生徒・教員や校外の助言者等に発表する。また発表へ質疑応答する。
- ② 質問や対話を通して探究課題への理解をより深めると共に、自らの探究過程を振り返って、自分の「研究力」がどのように向上したかをとらえ直す機会とする。また自らの探究への意識・意欲を高める。
- ③ 探究活動に関わる教職員が、日々の探究指導を省察し、生徒の「研究力」を育成するために有効な指導・助言の在り方や、探究活動を下支えするカリキュラム設計・開発の改善について考える契機とする。

2.日 時 令和5年2月8日(水) 5限目～7限目(12:50～16:00)

3.講師 13名

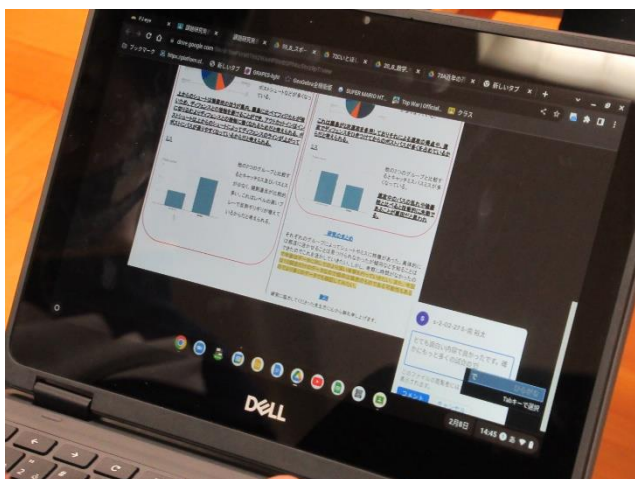
4.実施内容 【第一部】 研究ⅡSによる口頭発表、質疑応答、助言指導

【第二部】 2年生によるポスター発表 & ウェブダイアログ(オンライン実施)

【第一部】



【第二部】



5.生徒の感想

1年生

・なるべく誤差を少なくして対照実験にするために、細かなところまで正確に条件を揃えることや、仮説を証明するための実験の方法がとても工夫されていて見習いたいと感じた。

・どのようなことを知りたいか、しっかりゴールを決めて、見通しを持って研究を進めないといけないんだなと思いました。どうしてこんな疑問が湧いてきたんだろうというような、自分では思いつかないようなテーマの研究がたくさんあったので、すごいなと感心しました。

・研究の着眼点がどれも私が日常生活を送っている中で見逃してしまうようなことで、でも言われてみたら確かに気になる！という研究が数多くあって先輩方は鋭い感性をもっていて私も研究を行っていく上で日常のふとした瞬間にも目を向けていかないといけないと感じました。また今回の発表から藤島高校の研究は、お互いを高め合いながら、作り上げていくという印象を受けたので、受け身にならず、自分も積極的に、研究に取り組みたいです。

2年生

・今回の研究活動で、自分の興味ある世界を調べて更に自分の知識を広げるだけでなく、他の人の研究を見ることでしなかった世界や更に詳しい世界を知れるので自分の見識を広げる上でとてもいい活動だと思います。

・将来大学でやっていくことを予め高校で行い、経験を積んでいくことで自分が感じた反省を大学で活かして、存分な状態で大学で研究をしていけるというのは、自分の大学での学びを深められる良い機会だと感じた。また、自分がもともととは興味がなかった分野でも、自然と興味が向くように思った。

・普段の授業では、教科書に基づいて、担当の先生から知識を享受するにとどまっているが、研究の時間には自分で定めたテーマについて深く探求することで、自分で考えて行動する力が身についていると思う。

・決まった答えがないような問いに対しても自分自身で考察をし、粘り強く答えを見出そうとすることの面白さがわかった。自分の興味や関心に基づいた研究ができるため、取り組む熱量も自然と大きくなり、よりよい研究になる環境が整えられていると思う。